

コア企業：株式会社ADM（伊達市：建設用金属製品製造業）

連携企業等：日建片桐リース株式会社

事業計画の概要：

利用者の自立を促す移乗支援機能付き車いすの開発・市場化

1. (株)ADMは、平成18年に「超高強度鋼を活用した超大型高気密仮設上屋の開発」で新連携認定を取得、大型仮設上屋製品のリース事業を中心に成長し、売上を着実に伸ばしている。しかし、仮設上屋事業は今後公共事業の減少が懸念されることから、第2の事業の柱を模索していたところ。
2. 連携先である日建片桐リース(株)は10年以上前から福祉用具のレンタル事業を展開してきた。福祉用具のニーズは高まっているものの、その開発は製造者目線になりがちで、利用者への利便性の対応が遅れている現状を何とかしたいと考えていた。この現状を聞いた(株)ADMは従来より利用者や介護者の双方の負担を軽減させる「移乗支援機能付き車いす」を開発することにした。
3. 本事業では、利用者が車いすへ移乗する際に、単独での車いすへ乗り降りを可能なものとし、また介護者の介護作業の負担軽減を実現させるものである。
4. コア企業の株式会社ADMが開発・製造を担当し、連携企業の日建片桐リース株式会社は販売・レンタルを担当し、既存の取引先や全国の介護・福祉施設、在宅高齢者等に対してアプローチし、販路拡大を図る。

## 製品・サービスの概要

- ① 座席を左右二つに分割させ  
座席の開いたスペースに利用者の身体を入れる。



- ② 支援機能(アーム)を利用し立ち上がり、  
腰を浮かした間に左右に分割されている座席を元に戻す。



- ③ 利用者が閉じた座席部分に腰を下ろせば  
車いすへの移乗が完了。



介助タイプ



自走タイプ



## 外部協力機関

株式会社小松ファクト  
金型製作  
技術協力

北海道立総合研究機構工業試験場  
技術・デザイン評価等

## 市場

日建片桐リース(株)の既存取引先・全国の介護施設・病院・個人住宅へアプローチ

## 連携モデル

コア企業:(株)ADM

- ・事業統括
- ・商品企画
- ・開発・設計
- ・製造

日建片桐リース(株)

- ・市場調査
- ・販売促進活動
- ・レンタル、販売

## 連携効果

- ・(株)ADMが車いすを利用する要介護者が一人で容易かつ身体の負担感なしに乗り降り可能な車いすを開発。
- ・マーケティング、販売、レンタルにあたっては、日建片桐リース(株)と連携して販路拡大に取り組む。

## 新事業

- ・利用者が容易に一人で乗り降りできる車いすによって、介助が不要になることから、介助者の負担を軽減させる。
- ・車いすの座席が左右二つに割れ開くことで、後方から乗れる技術に関しての特許を取得済。

## 市場性

- ・市場ターゲットは
  - ①介護職員の負担軽減を図りたい福祉・介護施設における介護職員の負担軽減として
  - ②有料老人ホーム等の高齢者の移動支援として
  - ③障がい者の生活の一部としてニーズに応じていく。
- ・ケアマネージャーや家族を対象にデモ実演等で周知を図り販路を拡大していく。

## 支援メニュー

【支援金融機関】

日本政策金融公庫・北洋銀行・北海道銀行

【活用(予定)支援メニュー】

①政府系金融機関の低利融資 ②信用保証の特例 ③補助金

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社ADM 代表取締役 仁村 優治	
所在地	(本社)北海道伊達市北稀府町99番地の5	
創立	昭和63年10月	
資本金・従業員数	1,000万円	43名
T E L / F A X	0142-24-1334	0134-24-1559
e - m a i l	kk.adm@themis.ocn.ne.jp	
U R L	http://kkadm.web.fc2.com/	